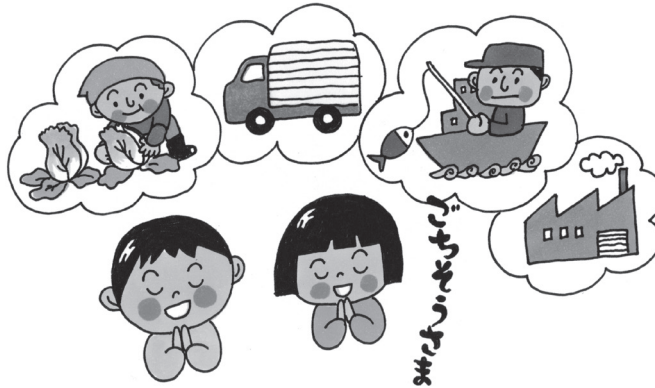


なぜ？なぜ？先生

～みんなの不思議～



どうして
「ごちそうさま」
というの？

「ごちそうさま」は、ごはんを食べ終わった合図ではありません。美味しい食事を届けてくださった多くの方と、いただいた命に感謝する言葉です。

ごちそうさまは漢字で「御馳走様」と書きます。「馳走」は馬に乗って駆け回って食べ物を集めてくる様子で、もとは仏教の言葉です。昔はスーパーもコンビニもありませんし冷蔵庫もないので、食べ物をすぐに用意したり、長い間保存しておくことができませんでした。今はお店でなんでも買えますが、最初から美味しいものがお店にあったわけではありません。たとえば、お魚は海から漁師さんが取ってきて、それを工場で加工し、トラックで運んで初めてお店で買うことができます。お肉もお野菜も同じです。そしてやっとお家やレストランで美味しい料理を食べることができるのです。

「今日の食事はごちそうだな」というように「御」をつけると豪華な食事をあらわす言葉になります。また「昨日はおじいちゃんの家でごちそうになった」というように食事の接待を受けたときにも使います。

人はお肉やお野菜を食べないと生きて行けません。わたしの命を支えるために食べ物を届けてくださった多くの方々に感謝のこころを表す言葉として、「様」という字を付けて「ごちそうさま」というようになったのです。

食事の所作は、やらなければならないルールではなく、心がけるべき美しいマナーです。